

# PSILO: 新機能

株式会社モルシス

岡田 晃季

PSILO はタンパク質立体構造データの共有を支援するデータベースシステムです。公共データとインハウスデータを統合し、多様なクエリーによる検索を可能にします。タンパク質立体構造と、関連情報（論文、実験情報など）は見やすく表示されます。タンパク質の全体構造やリガンド結合部位の重ね合わせによる構造の比較も可能です。

近年、PSILO にはファミリーデータベースの更新機能が搭載され、最新バージョンの PSILO2016.10 では抗体データベースの取り扱いが可能になりました。このデータベースを MOE と連携させることにより、PSILO に登録されている最新データに基づいた解析が可能になります。

その他にも、結晶構造レコードのクオリティサマリーの表示、3D 構造検索結果による重ね合わせ、リガンド類似度による検索結果のソートなどの新機能が追加されました。

本セッションでは、PSILO 2016.10 のこれらの新機能を中心にご紹介します。